

公益社団法人 日本アクチュアリー会
2021 年度 資格試験要領

2021 年 7 月 1 日
公益社団法人 日本アクチュアリー会
試 験 委 員 会
委員長 金澤 巖

日本アクチュアリー会の行う資格試験は、アクチュアリーに必要な専門知識および問題解決能力を有するかどうかを判定することを目的とするものです。2021 年度は以下の要領で実施します。

今後の新型コロナウイルス感染症を巡る状況に鑑み、以下に記載の実施内容は急な変更が生じる可能性があります。その場合は、当会ホームページにてお知らせします。
また、受験申込にあたっては「【重要】2021 年度 資格試験における新型コロナウイルス感染予防に係る対応等について」を必ずご一読いただき、内容をご理解いただいた上で、別紙（3）に従いお手続きくださいますよう、お願いいたします。

1. 試験科目

資格試験は第 1 次試験（基礎科目）および第 2 次試験（専門科目）からなります。

（1）第 1 次試験

第 1 次試験は第 2 次試験を受けるに相当な基礎的知識を有するかどうかを判定することを目的としています。試験科目は「数学」「生保数理」「損保数理」「年金数理」および「会計・経済・投資理論」の 5 科目で、この中から受験科目を受験者が選択します。

（2）第 2 次試験

第 2 次試験は、アクチュアリーとしての実務を行う上で必要な専門的知識および問題解決能力を有するかどうかを判定することを目的としています。「生保コース」「損保コース」および「年金コース」のうちいずれか 1 つのコースを受験者が選択します。

試験科目は、生保コースでは「生保 1」および「生保 2」、損保コースでは「損保 1」および「損保 2」、年金コースでは「年金 1」および「年金 2」の 2 科目で、受験科目は受験者が選択します。

第 2 次試験に合格し、かつ、理事会の承認を得た者が日本アクチュアリー会の正会員となります。なお、この理事会の承認を得るにあたっては、プロフェッショナルリズム研修（初

期教育) (前身の正会員研修を含む) を受講済みであることが必要となります。

プロフェッショナルリズム研修 (初期教育) は1日研修であり、2022年2月下旬の実施を予定しています。

2. 受験資格

(1) 第1次試験

学校教育法による大学 (短期大学を含む) を卒業した方が受験できます。

このほか、次の要件等を満たす方で、所定の書類を提出 (※) し、試験委員会が大学を卒業した方と同等の資格試験受験に必要な基礎的学力を有すると判断した方も受験できます。

- ①大学3年生以上の者 (4年制大学において、休学期間を除き2年以上在学し、かつ62単位以上の単位を修得した者)
- ②高等専門学校卒業生
- ③学士資格を有しない大学院生
- ④外国の大学を卒業した者、または、外国において上記①～③に相当する学校教育における課程を修了した者
- ⑤生保数理、損保数理、年金数理等の日本アクチュアリー会資格試験の受験科目に関連する知識を必要とする、保険・年金などの業務に3年以上携わった者

※提出書類は該当要件によって異なります。また、状況によっては、所定の提出書類の一部または全部を省略することがあります。

(2) 第2次試験

第1次試験の全科目 (5科目) に合格した日本アクチュアリー会の準会員が受験できます。

3. 試験内容および教科書・参考書

(1) 第1次試験

試験内容は別紙 (1) 「試験科目・内容および教科書・参考書」の第1次試験 (基礎科目) に記載されているとおりです。

第1次試験については「第2次試験を受けるに相当な基礎的知識を有するかどうかを判定することを目的とする」という趣旨から、出題範囲は教科書に限定します。

第1次試験はすべてマークシート方式により行います。マークシート方式による出題には以下のようなものがあります。

- ・多肢選択：複数の選択肢から正しい (誤っている) ものを選択して解答する。

〔出題例〕 「以下の ㉠～㉤のうち、正しいものを1つだけ選びなさい。」

- ・語群選択：与えられた語群（数値を含む）の中から問題文の穴埋めとして適切な用語（数値）を選択して解答する。

〔出題例〕 「①～⑩に当てはまる用語または数値を以下の ㉠～㉧から選びなさい。」

- ・数値記入：答となる数値を0～9や符号等の選択肢を使って解答する。

〔出題例〕 「・・・これらを解くと、 $x = \boxed{a} \boxed{b} . \boxed{c}$ となる。」
(正答が14.9の場合、 $a = \textcircled{1}$ 、 $b = \textcircled{4}$ 、 $c = \textcircled{9}$ と解答)

(2) 第2次試験

試験内容は別紙(1)「試験科目・内容および教科書・参考書」の第2次試験(専門科目)に記載されているとおりです。

第2次試験については「アクチュアリーとしての実務を行う上で必要な専門的知識および問題解決能力を有するかどうかを判定することを目的とする」という趣旨から、専門的知識の部分は教科書・参考書を中心とした出題範囲となりますが、問題解決能力の部分はアクチュアリーの役割および時事問題についても出題範囲に含めて論述式の解答を求める等、より広く専門職としての見識を問うこととなります。

試験問題は、全体の5割程度が『アクチュアリーとしての実務を行う上で必要な専門的知識を有するかどうかを判定する問題(第Ⅰ部)』、全体の5割程度が『アクチュアリーとしての実務を行う上で必要な専門的知識に加え問題解決能力を有するかどうかを判定する問題(第Ⅱ部)』で構成されます。

(3) 教科書・参考書の入手方法

教科書・参考書のうち市販されているものは書店でお求めください。

日本アクチュアリー会発行の教科書については、当会ホームページ(<http://www.actuaries.jp/>)の「教科書・書籍購入」ページよりお求めください。

なお、必要に応じて試験関連図書に関するお知らせ(新規出版物情報、教科書の訂正・正誤表等)も当会ホームページに掲示しております。重要な情報を掲載することがありますので、適宜、閲覧をお勧めします(<http://www.actuaries.jp/info/siken.html>)。

また一般的な留意事項として、第2次試験の受験者は、問題解決能力の向上に資するよう、「第2次試験に向けた勉強を進める上での留意事項」(アクチュアリージャーナル66号)を、勉強を進める上で参考にしてください。

(ジャーナル掲載当時と試験範囲や法令等が異なる場合がある点には留意ください。)

4. 合格基準

(1) 第1次試験

「数学」、「生保数理」、「損保数理」、「年金数理」、「会計・経済・投資理論」については、合格基準点（各科目の満点の60%を基準として試験委員会が相当と認めた得点）以上の得点の者を合格とします。

ただし、「会計・経済・投資理論」については、「会計」、「経済」、「投資理論」の各分野のうち一分野でも最低ライン（分野ごとの満点の40%を基準として試験委員会が相当と認めた得点）に達していない場合は、不合格とします。

(2) 第2次試験

「生保1」、「生保2」、「損保1」、「損保2」、「年金1」、「年金2」については、合格基準点（各科目の満点の60%を基準として試験委員会が相当と認めた得点）以上の得点の者を合格とします。

ただし、第I部、第II部のいずれかでも最低ライン（第I部は満点の60%、第II部は満点の40%を基準として試験委員会が相当と認めた得点）に達していない場合は、不合格とします。

5. 試験日時

日程	科目	時間
2021年 12月13日（月）	損保数理	9：30－12：30
	数学	15：00－18：00
12月14日（火）	生保1・損保1・年金1	9：30－12：30
	生保数理	15：00－18：00
12月15日（水）	年金数理	9：30－12：30
	生保2・損保2・年金2	
	会計・経済・投資理論	15：00－18：00

※今後も新型コロナウイルス感染症を巡る状況によっては、急な試験中止の可能性が
あります。その場合は、当会ホームページにてお知らせします。

6. 試験会場

東京 TOC五反田 東京都品川区西五反田 7-22-17 (<http://www.toc.co.jp/>)

大阪 天満研修センター 大阪府大阪市北区錦町 2-21 (<http://www.temmacenter.com/>)

※会場地図等は受験票に同封してお知らせします。

7. 試験会場で使用可能な電卓について

次の条件に該当する機種に限ります。なお、計算を要する試験問題については、√演算機能を有する電卓を使用することを前提に出題しています。

- (1) 電源内蔵式で四則演算、√演算、数値のメモリー機能のみを有するもの
 - － COMP・CPT・STAT キー等がある、いわゆる関数電卓の類の使用は認めない。また、紙に記録する機能、音（音階・音声等）を発する機能（♪マークがあるものを含む）、プログラムの入力機能等を有するものの使用は認めない。（ただし、%、定数計算、消費税計算、商売計算（原価、売価、粗利益率）、為替換算、日数計算、時間計算機能は可）
 - (2) 数値を表示する部分がおおむね水平で文字表示領域が1行であるもの
 - (3) 外形寸法がおおむね[幅 20cm×奥行き 20cm×高さ 5cm]を超えないもの
- 具体的な使用不可の電卓については別紙（2）「使用不可の電卓例」も参照ください。

8. 受験の申込

- (1) 受験申込受付期間

2021年9月1日（水）から2021年9月24日（金）正午まで

※昨年度と同様、例年とは受付開始時期が異なり、また期間が短縮される点にご留意ください。

- (2) 受験申込方法・受験料

日本アクチュアリー会の会員か非会員か、一括申込か個別申込か等によって、申込方法および受験料が異なります。以下の申込区分に従い、お申込みください。

※申込手続の詳細については、申込開始日に当会ホームページにて要領を公表します。

申込区分		申込方法	受験料
A	法人会員の連絡担当者（※）経由で申込まれる方	連絡担当者経由で申込みいただけます。	1科目 7,000円
B	上記A以外の個人会員の方（本会からの各種案内等が、直接送付されている会員の方）	当会ホームページから、申込みいただけます。	
C	上記A、B以外の方で、大学（短期大学を含む）を卒業され、個人で受験申込を行う方	当会ホームページから、申込みいただけます。	1科目 10,000円
D	上記A、B、C以外の方で、現在大学3年生以上の学生（4年制大学において、休学期間を除き2年以上在学し、かつ62単位以上の単位を修得した学生）で、個人で受験申込を行う方	また、受験資格を証明する書類の提出が必要になります。	
E	上記A、B、C、D以外の方	exam2021@actuaries.jpまでメールにてお問い合わせください。	

※法人会員が日本アクチュアリー会に届け出ている連絡担当者（以下「連絡担当者」という）

(3) 受験資格の審査に必要な書類

上記の申込区分C、D、Eの方は、受験資格の審査のため、次の書類が必要となりますので、早めに取得方法等を確認ください。

申込区分		必要な書類
C	上記A、B以外の方で、大学（短期大学を含む）を卒業され、個人で受験申込を行う方	<p><大学・短大・大学院を卒業した方> 次のいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学、短期大学の卒業証明書 ・大学院の修了証明書 ・前年度以前にアクチュアリー試験を受験した方は、その時の受験票 <p><大学院生の方> 次のいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学（学部）の卒業証明書 ・大学院の在学証明書（発行日が2021年度のもの） ・前年度以前にアクチュアリー試験を受験した方は、その時の受験票
D	上記A、B、C以外の方で、現在大学3年生以上の学生（4年制大学において、休学期間を除き2年以上在学し、かつ62単位以上の単位を修得した学生）で、個人で受験申込を行う方	<p>次のいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業見込証明書（取得できない場合は、成績証明書と在学証明書の両方）（休学期間がある場合は休学証明書も必要） ・前年度以前にアクチュアリー試験を受験した方は、その時の受験票
E	上記A、B、C、D以外の方	exam2021@actuaries.jp までメールにてお問い合わせください。

9. 受験票の送付

受験票は11月下旬に送付します。11月26日（金）までに受験票が到着しない場合は、日本アクチュアリー会事務局（exam2021@actuaries.jp）まで、Eメールにてお問い合わせください。

10. 合格者の発表

- ・発表時期：2022年2月中旬の予定（受験票送付時に通知します）
- ・発表方法：日本アクチュアリー会ホームページ（<http://www.actuaries.jp/>）に合格者の受験番号を掲示します。あわせて、各科目の合格基準点および最低ラインを掲示します。

また、可否結果は次の方法で本人あてに通知します。

申込区分	通知方法
① 法人会員の連絡担当者経由で申し込まれた方	連絡担当者経由で通知します。
② 上記①以外の方	受験申込時の送付先住所への直接郵送により通知します。

※申込後に受験者の連絡先等が変更された場合は、ご連絡いただいた送付先に通知します。

なお、不合格の場合は、得点ランクもあわせて通知します。不合格の場合の得点ランクについては、以下の通りです。

(1) 「数学」、「生保数理」、「損保数理」、「年金数理」

I : (合格基準点) - 1点 ~ (合格基準点) - 10点
II : (合格基準点) - 11点 ~ (合格基準点) - 20点
III : (合格基準点) - 21点 以下
IV : 欠席の場合

(2) 「会計・経済・投資理論」

I : (合格基準点) - 1点 ~ (合格基準点) - 10点
II : (合格基準点) - 11点 以下
※不合格ランク I・IIについては、各分野とも最低ラインは達成。
III : 最低ライン未達
IV : 欠席の場合

(3) 第2次試験（専門科目）

I : 第I部・第II部とも最低ライン達成かつ合格基準点未達
II : 第I部最低ライン達成かつ第II部最低ライン未達
III : 第I部最低ライン未達
IV : 欠席の場合

11. 個人情報の取扱

受験申込時に記入された「氏名」「生年月日」「住所」「勤務先」等および合否結果、得点ランク等の個人情報については、試験運営、試験関係事務（受験票等の送付等）、会員管理事務（通信事務等）および統計資料、その他当会の運営に必要な資料の作成にのみ利用します。

なお、連絡担当者経由で申し込まれる方につきましては、上記個人情報が連絡担当者経由で法人会員に提供されることについて同意したものとして取扱います。

また、合格者の方につきましては、従来より、当会会員向けに発行するアクチュアリージャーナルに、「合格科目」、「氏名」、「会社名」（法人会員会社所属の場合）、「全科目合格者」および「成績優秀者」等を掲載しており、2021年度の試験結果についても同様に掲載する予定です。掲載を希望されない方は、合格発表日から1週間以内（当日の消印有効）に書面で日本アクチュアリー会事務局までお申し出ください。

12. 日本アクチュアリー会への入会

第1次試験に1科目以上合格された方は、日本アクチュアリー会の会員となることができます。

日本アクチュアリー会の会員（※）になりますと、当会主催の年次大会、研修会等への

参加および会報・アクチュアリージャーナルの閲覧等が可能となります。

なお、非会員の方については、過去に合格された科目があっても、はじめて受験されるもの（合格科目ゼロ）として、受験者管理を行っています。したがって、非会員の方は、合格された科目についても合格していないものとみなされますので、ご注意ください。

※2021年度日本アクチュアリー会年会費

正会員：30,000円 準会員・研究会員：15,000円

以 上